

修猷館200年史の館歌歌詞関係の疑問点

- 1、200年史の本文年表に昭和53年修猷歌集発刊の記事ナシ。
- 2、同窓会執行部が言う「十分に論議して、玄界に公式決定した」記事ナシ。
- 3、館歌歌詞掲載は、200年史巻末資料の「修猷歌集」のみで従来と異常扱い

他の正史は220年史含めて、表紙の裏に「玄海」表記で記載してある。

同窓会執行部は、令和3年10月6日回答書で平成12年に学校が公式決定し、学校要
紀、卒業アルバムを「玄界」に変更されたと説明しながら、公式決定したのは昭和53
年の修猷歌集発刊時と主張するのは、後付け論理で虚偽発言である

百道中学卒業生 修猷館卒業生

S28年	安西 宏紀	近畿修猷会
S29年	松村 泰夫	関西百道会会長、近畿修猷会
	船津 正明	元修猷館教諭、卒業生初代館長
S40年	小川 洋	前福岡県知事 故人
S41年	津田 純嗣	令和3年より修猷館同窓会長
S43年	大賀 啓史	修猷館同窓会常任幹事長
S47年	林 幸治郎	近畿修猷会、ちんどん通信社代表

百道中学校歌は、作詞原本が存在し、2番の歌詞は「玄界」表示で、公式の学校要覧
では玄界を登録しているが、昭和30年頃より「玄海」に変更され、同窓生もほとんど
は玄海で歌い継がれており、現行も玄海で統一表記されている。

学校の公式HPでも福岡市教育委員会指導表示方式で、「玄海」表記されている。

川原私感であるが、船津氏は中学時代の「玄界」が正当と思い込み、修猷館の館歌歌詞も
機会あれば変更しようと意図して、いちばん発言力の強い時期に変更したと思われる。
故に変更理由も決定根拠も決定者も明示できず、議事録記載できず今日に至っている
学校も初代卒業生館長で長期間、教諭、館長を務め、同窓会も会長、幹事長の要職者の
偉大な先輩ということで、忖度してしまっていると思料致します。

随所で、個人的には玄海が正しいと思うと発言しながら、同窓会は学校が決めたことと言
い学校は同窓生総意の意見あれば検討しますと、事なかれ主義の責任回避に終始しています。

一九猷会小田会長の同窓会常任幹事の任期は令和5年総会までなので現執行部体制では
余程の事がないと変更はおぼつかないと思われます。

*先輩の都都逸「**かつて館歌は玄海なれど或る日玄界なし崩し**」思案亭

令和4年9月10日 一九猷会総会・懇親会にて 山城国伏見住 川原 章